

保育士勤務環境改善計画書

記入例

令和 7 年 9 月 1 日

社会福祉法人
埼玉県社会福祉協議会会長 様

(申請者)
施設・事業者住所 ○○市○○○ 1-2-3
施設・事業者名 ○○保育所
施設長・代表者名 ○○ ○○

記

- 1 保育補助者の雇上げについて
- ① 保育補助者の雇上げについていずれかの項目にチェックをしてください。
- ☒新たに保育補助者を雇用する
- ☐保育補助者を既に雇用している
- ② ①で「保育補助者を既に雇用している」にチェックした場合、以下のいずれかにチェックのうえ、その内容がわかる資料を別途添付してください。
- ☐既に雇用している保育補助者について保育士資格の取得に施設として取り組んでいて、その者の資格取得後に別の補助者を雇用する計画がある。
- ☐貸付を受けることにより保育士の給与改善を図るなど、保育士の処遇改善に取り組み、前年同月における保育士及び保育補助者の数と比較して、保育士及び保育補助者がそれぞれ同数以上である。
- ☐保育士の平均勤続年数が11年以上である。
- 2 勤務環境改善を行う項目
- ① 保育士の勤務環境改善を行う項目にチェックをしてください（複数選択可）。
その他の場合、（ ）内に具体的内容を記載してください。
- ☒時間外勤務の縮減
- ☒休暇取得の促進
- ☐その他（具体的内容： ）

② 保育士の勤務改善を行う項目の具体的な数値目標及び方法について以下の欄に記載してください。

改善前	【時間外勤務時間数】 ・令和6年度の保育士の年間平均時間外勤務時間数は1人あたり30.5時間である。 【休暇取得】 ・令和6年度の保育士の年間平均年次休暇取得日数は1人あたり5日である。 ・夏季休暇の取得可能日数は5日間だが、3日間以上連続して取得することが出来ない。
改善後	保育補助者を1名雇い上げることで以下のとおり改善する。 【時間外勤務時間数】 ・保育士の年間平均時間外勤務時間を1人あたり20時間以内にする。 【休暇取得】 ・保育士の年間平均年次休暇取得日を1人あたり7日以上にする。 ・1/3以上の保育士が夏季休暇を3日間以上連続して取得する。